

# 麒麟獅子舞、傘踊り 彩る

建設中の栃谷高架橋の橋台

## 浜坂高美術部の生徒描く

浜坂高美術部の生徒11人 期（新温泉町栃谷―同町が山陰近畿道「浜坂道路2」居組、7・6キロ）で建設中



絵を仕上げている生徒たち 19日、新温泉町栃谷

の栃谷高架橋の橋台（高さ8.5メートル、幅11・6メートル）に描いていた絵が19日、完成した。麒麟獅子舞など地元の文化や自然をデザインしており、道の駅山陰海岸ジオパーク浜坂の郷（同町栃谷）の駐車場から眺めることができる。工事の進展で橋台が盛り土に隠れるまでの2年間限定で「公開」される。

同道路の整備事業をPRすると同時に、地元の仕事に関心を持ってもらおうと、県新温泉土木事務所が、浜坂高美術部に呼びかけて実現した。絵のデザインは部員全員で考え、新温泉町の特徴である山と日本海、麒麟獅子舞と海上の傘踊りを採用。住民に笑顔になってもらえるようにと「きょうも幸せ」のメッセージを書き込むことも決めた。

生徒は今日5日から放課後を利用して作業を進め、19日は水性ペンキと筆を使って絵を仕上げた。完成した絵は、建設中の道路と新温泉浜坂インターチェンジの接続工事が始まるまでの期間、見ることができるといふ。

部長の毛戸ひよりさん（17）は3年間は「これだけ大きな範囲を描くのは大変だったが、遠くからでも目立つ絵に仕上がったと思う。住民の皆さんが笑顔になってもらえれば」と満足げな表情を浮かべた。

企画した県新温泉土木事務所の篠木郁秀さん（27）は「新温泉町らしい絵に仕上がりが、さすが美術部だなと感じた。この経験が生徒の思い出に残ればうれしい」と話した。（前田一樹）